

Sakuraphon presents

ピアノ音楽の秘かな愉しみ

2009. 05. 27 (wed) at EBISU art-cafe friends

19世紀のピアニストたちから受け継いだピアノ小品プログラム。実際に聴いてみると優雅な魅力にあふれた名曲が多いことにおどろきますが、生演奏で聴く機会は残念ながら限られています。そんな隠れた名曲の数々をこよなく愛するピアニストたちの演奏でお届け出来ることは、私の長年の夢でもありました。テーブル席（約65席）でお食事やドリンクを御召し上がりいただきながら、ゆっくりとサロン・コンサートを愉しんでいただけると幸いです。

(サクラフォン：夏目久生)



● 松原 聡 (まつばら さとし) Pianist

3歳よりピアノを学ぶ。9歳より桐朋学園子供のための音楽教室でピアノとソルフェージュを故・新井精氏、並びに周参見夏子氏に師事。同年より更に和声・ソルフェージュを作曲家松井和彦氏に師事。13歳でウィーン市立音楽院ピアノ科入学試験に当時最年少で合格。16歳の時、初のリサイタルを開催。18歳の時、全イタリア国立音楽院認定の演奏ディプロマを取得。21歳よりピアニストの酒井忠政氏に師事した後、ブラハ音楽院へ留学し、ピアノをヤン・ノヴォトニー教授に師事。同音楽院を修了して帰国。2003年10月に神奈川県民ホールで開催された1927年製フランスのエラールピアノを使用したコンサートに出演してデビューを果たし、好評を博す。

● 小川 至 (おがわ いたる) Pianist

長野県長野市出身。長野県立小諸高等学校音楽科を経て、2007年、武蔵野音楽大学ピアノ専攻を卒業。在学中、成績優秀者によるコンサートに出演。また、同大学主催の入間ウインドオーケストラのピアノパートとして出演。2003年から2005年までの間に同大学の福井直秋第1種記念奨学生となる。ピアノを村上直行、ジュリア・ガネヴァ、イシュトヴァーン・ラントシュ、アンドレイ・ピサレフの各氏に、伴奏法をヤン・ホラクに師事。2009年3月、武蔵野音楽大学大学院音楽研究科のピアノ専攻を修了。

● 林川 崇 (はやしかわ たかし) Pianist, Composer

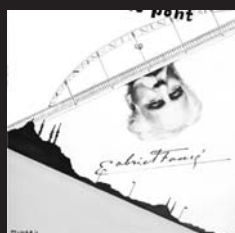
東京芸術大学作曲科卒業。少年時代にエディソンの伝記を読み、古い録音に関心を持ったことをきっかけとして、往年の巨匠達の演奏を聴き、それらの演奏に傾倒。その延長で、19世紀後半から20世紀前半にかけて活躍した巨匠ピアニストが自らのレパートリーとするために作った作品及び編曲には強い関心を持つようになる。現在では、それらの楽譜の蒐集及び演奏に積極的に取り組む他、楽譜として残されなかったピアノ作品の採譜にも力を入れており、それらの中には、出版や再録音が成されたものもある。また自らも、そうした往年のピアニスト達のスタイルに倣ったピアノ用編曲を作り、それらは、マルク=アンドレ・アムラン等の世界的な演奏家からも高く評価されている。

19世紀的口マンがよみがえる伝説の演奏家たちによるCDアンソロジー決定盤。

DiwClassics



- DCL-1001 スクリャービン歴史的録音集 第一集 ~ロシア・ピアノ編
- DCL-1002 スクリャービン歴史的録音集 第二集 ~SPレコード編
- DCL-1003 フランス女流ピアニストによるフォーレ歴史的録音集 ~孤独な作曲者の夢想~
- DCL-1004 アリーヌ・ヴァン・バレンツェン ~ベートーヴェン・ソナタSP録音集~
- DCL-1005 黎明期のゲヴァントハウス弦楽四重奏団
- DCL-1006 ショパン演奏の秘かな愉しみ 第一集 ~失われた美意識を求めて
- DCL-1007 カール・ズスケ / 永富和子 イン・ジャパン1979
- DCL-1008 ショパン・コンクールの歴史 第一集 ~受賞者と創始者の演奏
- DCL-1009 モーツァルト・ピアノ名演集 第一集 ~1950年代の録音
- DCL-1010 ショパン演奏の秘かな愉しみ 第二集 ~歴史的ピアニストたちによる夜曲集



タワーレコード、HMV、山野楽器、アマゾン、ディスクユニオンなどで絶賛発売中。 <http://www.78rpm.net/diw/>